

第13期 砂防公開講座

第1回 ～「SABOってなんだろう?～」

2009. 6. 24 参加者 16名

第13期砂防公開講座が始まりました。開講式は利根川水系砂防事務所で開催し、受講生の皆さんに砂防・防災について知ってもらうため、砂防事業の取組みや土砂災害の危険性、防災対策についての講義を行いました。

《プログラム》

- ・開講
- ・主催者挨拶
- ・事務所職員自己紹介
- ・受講生自己紹介
- ・講義① 後藤宏二所長
- ・土砂災害防災ビデオ上映
- ・講義② 大内章義氏
- ・閉講



後藤事務所長による主催者挨拶



受講生による自己紹介



～「砂防事業における最近の取組み～」 利根川水系砂防事務所長 後藤宏二所長



土砂災害・地震・洪水などの災害が起こりやすい日本の特徴や、砂防事業の現状を、映像や写真を使って話していただきました。

～群馬県の土砂災害対策(ソフト対策)について～ 群馬県 県土整備部砂防課補佐 大内章義氏



近年の群馬県内土砂災害状況や、土砂災害防止法・土砂災害警戒情報・合同避難訓練など、防災意識の向上について話していただきました。



受講生からの質問もありました。



坂田副所長による閉講挨拶

<アンケート結果>

- ・大変詳細な説明をしてもらい、新たに災害の恐ろしさを感じました。また新たな気持ちでがんばりたいです。
- ・初めて知る言葉や自然災害の恐ろしさが少し分かりました。これから1年間勉強し色々を知っていきたいと思う。
- ・資料をたくさん提示していただき、改めて群馬県の地に生きるものとしてうかうかしていられない気持ちです。
- ・何年か受講してきましたが、今回は第1回から大変充実した中味の濃い講座でした。
- ・人の集まるような内容の事を取り上げないと、出席者が少なくなるので考えてほしいです。
- ・全員が一生懸命仕事をしていることが分かりました。予算が少ないようだが住民への情報提供をお願いしたい。